



トビウオが旬



1 学年通信

中体連夏季大会壮行会！選手の皆さんの健闘を祈る！

2日（水）、皆さんにとって初めての中体連夏季大会の壮行会が開かれました。応援委員の先輩方からエールや応援歌を教えていただいて、各クラスでも練習を繰り返してきましたね。新型コロナウイルス感染拡大防止のため練習時に大きな声が出せなかったかと思いますが、去年は全校での壮行会ができなかったのが、今年はできて本当に良かったなあと思います。先輩方が試合や大会で苦しい時に、辛い時に、皆さんの応援が少しでも力になってくれるとうれしいですね。

また、1年生の仲間も何人かが選手として前に立ちましたね。中学校での初めての試合になりますが、頑張って練習してきた成果が出せるといいですね。学年全員で応援しています！

また、長野市内の各中学校が集まりますので、観戦や応援、会場使用のルールやマナーを守って、広徳中生らしい姿で気持ちの良い大会にしましょう。

校庭での壮行会の様子
Web 上のため写真の掲載はありません。

大会で学べるはずだったこと、いつ、どうやって学ぶのか？

さて、選手以外の皆さんは、ほとんどが大会に参加することもできないのだと思います。本当は大会に参加して、学んでこなくてはいけないことがたくさんあります。大会の空気を感じることや、選手を応援することももちろん大切なのですが、「選手のためにできることは何か？」「チームに貢献できることは何か？」ということを自分で（自分たちで）考え、判断し、そして、実際にそのように動くことです。

そして何よりも、最後の大会に参加する先輩方の姿から、「なぜ部活動に取り組むのか？」を感じ、考えることを通して、学んできてほしかったです。それにより、これからの部活動に参加する君たちの姿が向上するはずでした。残念ながら、今年も叶いません。しかし、学校で先輩方と一緒に練習に取り組む中で、少しでも学べることはあるはずですよ。残りわずかな時間です。無駄にしないでほしいです。

応援委員会の取り組みから生徒会活動について考える

さて、今回の壮行会の応援委員会の取り組みから、生徒会活動において大切なことを2つ学ぶことができます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全校が体育館に集まることはできません。今年も全校での壮行会はできないのではないかと考えていました。しかし、「校庭でやろう！」と応援委員会の皆さんが考えてくれました。「今までのやり方ではできないな」ではなく、今までのやり方を変えて「どうやったらできるのか？」を考えたのです。「With コロナ」の時代です。今回のやり方がこれからの広徳中のスタンダードになっていくと思いました。

“「本番に強いこと」に何の価値もない”と私は思います。練習やリハーサルを繰り返す中で、“活動の質”を高めるのです。生徒会活動において、リハーサルが一番大切だと思っています。

今日は、壮行会がありました。私は選手として、前でみんなに応援してもらいました。今までクラスや全校で、みんなが沢山練習をしていて、今日のために、応援委員の人たちががんばって準備してくれました。朝早く来て練習してくれていた応援委員の人には感謝でいっぱいです。入場するとき、私のおじいちゃんとおばあちゃんも見ていたので、ときどきして笑いそうになってしまいました。みんなが応援してくれたおかげで、6月5日の大会もがんばれるような気がしました。この気持ちを忘れず、一生懸命リレーに取り組みたいです。

日	曜	1	2	3	4	5	6	給食	清掃	行 事 等	一般時刻 完全下校
5	土	中体連 北信陸上大会									
6	日										
7	月	55	56	57	58	59	60	○	○	衣替え移行期間	16:25 18:45
8	火	61	62	63	64	65	学	○	○	衣替え移行期間 生徒会委員会	16:25 18:45
9	水	66	67	68	69	総	/	○	×	衣替え完全実施	15:30 17:30
10	木	70	71	72	73	74	75	○	○	歯科検診①	16:25 18:45
11	金	76	77	78	79	80	81	○	○	漢字検定	16:25 18:45
12	土	中体連 長水大会									
13	日	中体連 長水大会									
14	月	計画休業									

